



からむしから取り出した着字と手作り糸

ネオ昭和
株式会社

カラムシ製足袋発売

通気性良く防虫効果

「天地人」シンポ機に企画

ネオ昭和

ネオ昭和が販売を始めたカラムシ製の足袋

カラムシを活用した織維製品の企画・販売を手掛けるネオ昭和（十日町市、村山好明社長）は、カラムシ製の足袋の販売

を始めた。三月に新潟市で開かれたNHK大河ドラマ「天地人」関連のシンポウムに合わせ製作を依頼されたのがきっかけで、年間約千足の売り上げを目指す。同社はカラムシ製の肌

着や靴下などを販売している。製糸や染色、縫製などの各工程は県内の業者が担う。カラムシで織られた製品は通気性が良く、繊維の表面が滑らかなためダニなどの虫が付きにくい。また、静

電気も起きにくいという。カラムシ製足袋は、生地

カラムシは上杉謙信の財政基盤を支えるなど「天地人」と縁がある。足袋の素材は一般的に綿

だが、今回はシンポで甲冑姿の県内首長らが履く足袋をカラムシで作するよう県が依頼した。履き心地の評判も良かったため販売を決めたが、村山社長は「この注文がなければ、足袋の企画は生まれなかった」と

話す。カラムシ製足袋は、生地の段階で表面のけば立ちを焼き、蒸気をかけながらプレスすることで滑らかな肌触りに仕上げた。東京の足袋小売り業者からも引き合いがあり、五月半ばにも納入する。

既製品は一足二千六百二十五円（税込み）。サイズなどを特注する場合は四千七百二十五円（同）となり、注文から納品まで二週間程度かかる。また、ネオ昭和は、和菓子（せんべい）の梱包や日本酒のラベル用にカラムシを使った紙の開発も進めてお

り、六、七月ごろには出荷できる見込み。村山社長は「カラムシの多用途展開を図りたい」と話している。

決算

（本文を除く単位は百万円▲はマイナス）

【2月期】

人件費増え減益

【単体】

◇セイヒョー（15日）
▽売上高 4,914

（0・2%増）

▽経常利益 30（60

・2%減）

▽当期利益 14（57

・7%減）

▽キャッシュフロー

（営業▲9投資▲518

財務375）

梅雨明けの遅れや中越